※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　日本語科

教科	（学）日本語	科目	（学）中級の日本語H	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

初級の日本語Hからの継続で、読む、書く、話す練習を繰り返し行い、正しい日本語を身につけましょう。個別対応で学習します。

2　学習の到達目標

動詞や形容詞などを用いた中級的な日本語の知識や技能を身につける。 動詞や形容詞などを用いた中級的な日本語で自分のことを表現することができる。 動詞や形容詞などを用いた中級的な日本語を用いて積極的に話したり書いたりする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実際に日本語を用いた言語活動を通して、動詞や形容詞、会話文について理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる中級レベルの知識・技能を身に付ける。	情報を整理しながら考えなどを形成し、中級レベルの日本語で表現したり、伝えたりする。論理的に適切な日本語で表現することができる。	自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した中級レベルの日本語を用いて自身の考えを伝えようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	動詞	動詞についての学習	a:学習した内容を用いて実際に中級レベルの日本語を用いた言語活動を通して、動詞についてより理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、中級レベルの日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した中級レベルの日本語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2学期	形容詞	形容詞についての学習	a:学習した内容を用いて実際に中級レベルの日本語を用いた言語活動を通して、形容詞について理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、中級レベルの日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した中級レベルの日本語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題
3学期	会話文	会話文(感想をのべる)についての学習	a:学習した内容を用いて実際に中級レベルの日本語を用いた言語活動を通して、感想文について理解することができる。実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、感想文の形式で中級レベルの日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した中級レベルの日本語を用いて自身の考えを感想文の形式で伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用